

平成28年第3回

伊根町議会定例会会議録

平成28年9月15日（第2号）

伊 根 町 議 会

平成28年第3回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招 集 年 月 日	平成28年 9月15日 木曜日						
招 集 場 所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開 閉 の 日 時 及 び 宣 告 者	開 会	平成28年 9月15日 9時30分			議 長	泉 敏 夫	
	散 会	平成28年 9月15日 10時43分			議 長	泉 敏 夫	
応(不応)招 議 員 及 び 出 席 並 び に 欠 席 議 員	議席番号	氏 名	出欠	議席番号	氏 名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和 田 義 清	○	6	大 谷 功	○	
	2	藤 原 正 人	○	7	佐 戸 仁 志	○	
	3	濱 野 茂 樹	○	8	上 辻 亨	○	
	4	松 山 義 宗	○	9	泉 敏 夫	○	
	5	山 根 朝 子	○	10			
地 方 自 治 法 第 1 2 1 条 の 規 定 に よ り 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	職	氏 名	出欠	職	氏 名	出欠	出席 11名 欠席 0名
	町 長	吉 本 秀 樹	○	保健福祉課長	須 川 清 広	○	
	副 町 長	小 西 俊 朗	○	地域整備課長	白 須 剛	○	
	教 育 長	石 野 渡	○	総務課主幹	石 野 靖	○	
	総務課長	鍵 良 平	○	教育次長	梅 崎 良	○	
	企画観光課長	泉 良 悟	○	会計管理者	倉 正 人	○	
	住民生活課長	上 山 富 夫	○				
職務のため 出席した者 の 職 氏 名	議 会 事務局長	前 野 義 明	○	主 査	今 岡 敬 雄	○	
会 議 録 署 名 議 員	2 番	藤 原 正 人		8 番	上 辻 亨		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 し た 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

平成 2 8 年 第 3 回 伊根町議会定例会

議事日程 (第 2 号)

平成 2 8 年 9 月 1 5 日 (木)

午 前 9 時 3 0 分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第 4 2 号 平成 2 7 年度伊根町歳入歳出決算認定について
(質 疑)

会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第 42 号 平成 27 年度伊根町歳入歳出決算認定について
(質 疑)

会 議 の 経 過

平成28年9月15日(木)
午 前 9時30分 開議

◎ 開会・開議の宣言

○議長(泉 敏夫君) おはようございます。
ただいまの出席議員は全員です。
これから本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において
2番、藤 原 正 人 君
8番、上 辻 亨 君を指名します。
以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員をお願いします。

◎ 日程第2 議案第42号

○議長(泉 敏夫君) 日程第2、議案第42号 平成27年度伊根町歳入歳出決算認定について
を議題とします。

初めに、質疑区分についてをお諮りします。

慣例により、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を一区切りとします。一般会計歳入歳出決算の歳出のうち、1款議会費から7款商工費までを一区切りとします。次に、8款土木費から14款予備費までを一区切り、合計3区切りとして質疑をお願いしたいと思います。

特別会計は、国民健康保険特別会計で、まず事業勘定歳入歳出決算を一区切りとします。次に、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算を一括して一区切り、合計2区切りで質疑をお願いしたいと思います。

その他特別会計は、会計ごとに区切って質疑をお願いしたいと思います。

以上のような区分で質疑をお願いと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議ないようです。そのような区分で質疑を行います。

それでは最初に、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を対象として質疑を行います。

これから、質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで、質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、一般会計歳出の1款議会費から7款商工費までを対象として質疑を行います。質疑ございませんか。6番、大谷功君。

○6番(大谷 功君) 決算付属書の43ページ、予防接種・結核予防事業ですが、接種率というのが大変大きなばらつきがあるわけですが、これは、法定接種と任意接種があるんですが、この法定接種で、もし接種されない人は、今後どうなるのかというのを、ちょっと教えていただきたいと思います。

○議長(泉 敏夫君) 須川課長。

○保健福祉課長(須川清広君) 接種率のばらつきにつきましては、勧奨のほうは接種をするように勧めておりますが、個人の意思ということもあると思います。

引き続き、受けられなかった方には、勧奨のほうをしていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 6 番、大谷功君。

○6 番（大谷 功君） そしたら、このまま受けずにずるずると大人になっていくということも十分あるわけですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 接種によっては、個人さんが、そのような接種を拒む方もおられます。心理的なのか、心情なのか、自分の思いで私は受けませんと言う人もいますので、そういう方は、そのようになるかと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかに。2 番、藤原正人君。

○2 番（藤原正人君） 火葬場の管理運営費のところなんですけれども、付属書の 4 4 ページなんですけれども、どの地域もではないと思うんですけれども、私のところの地域では、隣組の方を頼んで火葬場へ後片づけというか、頼んでおるんですけれども、高齢化になって、なかなかそういう方を頼めない状況が起きてきています。その中で、後の片づけ、焼却炉というか炉の、それを、ふるさと公社が委託されておるんですけれども、担当の方によって後片づけをしてくれる方と、誰か来て後片づけはしてもらわなあかんということがあるんですけれども、そのところはどういうふうに規定でなっているのか。なかなか人が頼めんみたいなんで。後片づけ、掃除がどういう規定になっておるのか、ちょっと教えてほしいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 藤原議員からのご質問です。

火葬場の運営費に係りまして、火葬後の後片づけということですが、現在は、全て委託しております公社のほうに後片づけも全てお願いをしておりますので、一切していただく必要はないというふうに周知もさせていただいておるつもりでございます。

さらに、地域の実情によって火葬場のほうに向かせている。地域の方が、何人かが火葬場のほうに行かんなんのかという話もあったりするんですが、何もすることはないけれども行かんなんのかというお話があったりもしますが、それについても、どうしても地域の慣習上行かせてほしいということであれば、じっとしていただいておりますが、来ていただくことも可能ですが、そういう必要はございませんということで返答もさせていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 1 番、和田義清君。

○1 番（和田義清君） すみません。同じく火葬場のところなんですけれども、27 年度の利用率が 27% ということでお聞きしておるんですけれども、近年やっぱりこれは減少傾向にあるのかということで、火葬炉の保守点検業務、これが富士建設工業さんで 18 万 3,600 円と上がっておりますけれども、これは、使用回数に関係なく年もしくは月に定期的に保守点検をされて、この金額で上がっているのか、ちょっと保守点検内容を教えていただきたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 和田議員からのご質問です。

まず、火葬場の利用率のことですが、平成 27 年度につきましては付属書に記載のとおり、火葬場の利用率は 27% ということで記述をさせていただいております。過去数年さかのぼりますと、ずっと前、平成 18 年になりますと、このころは 75.9% というふうに非常に高い、町内で亡くなられた方が火葬場を利用されてきておりましたが、その後、1 年に 10% ずつぐらい落ちてきております。そうした中で、平成 23 年には 36.1%、平成 24 年には 36%、平成 25 年には 22% まで、また、平成 26 年は 33% ということで、ここ近年は 20% から 30% ということで、ここ 5 年程度は推移をしてきておるところでございます。

以上が利用率の経過でございます。

また、火葬炉の保守点検業務でございますが、富士建設工業様に委託を出しております。これにつきましては、基本的に年 1 回の点検業務ということで、特殊なものでもございますので、各機械器具の損耗ですとか、各耐火レンガの確認等々、年 1 回ですが 18 万 3,600 円をお願いをしております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 8 番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 付属書のほうで45ページの不法投棄対策事業ということで、パトロールされておられる方があって、いつもきれいにしているわけなんです。この間の説明で、山の中のほうへは危ないから入らないようにということで説明を受けたんですけども。道路によっては下がやぶであつたりだとか、ごみが危ないんですけども、道路の下からも上からも見ておると、そこへいつもほかすような場所があるんですけども、そういったところの不法投棄があるようなところの対策としては、何か考えておられないんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 上辻議員のご質問で、不法投棄に関連して伊根町のある場所には、道路の下谷の部分にごみが落ちている箇所があるというご質問でございますが、確かにおっしゃるとおりで、伊根町内には数カ所になろうかと思いますが、各谷、ごみを不法投棄しやすいところにたくさんのごみがあることは事実でございます。過日の全協でもご説明いたしましたとおり、過去はなるべく見えるところについては、そういった部分も、ごみの処分をしてきておりましたが、現段階では、他の業務もたくさんしていただいておりますので、そういった部分に時間をとることができないということから、現段階では、その部分を実際はしておりません。ただ、確かにたくさんの方の箇所に、伊根町内の各谷にごみが捨てられておる状況でございます。それを本格的に回収をやると思いますと、相当本腰を入れてということになろうかと思っておりますので、きょうご指摘をいただきましたので、今後、どのような対策があるのか十分に検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 付属書のほうで19ページ、伊根町プレミアム商品券発行事業ということで、昨年プレミアム商品券を発行して、地域の企業さん方から大変よかったなとかいって声もあったわけですけども、これまた来年度もする予定はあるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 泉課長。

○企画観光課長（泉 良悟君） 平成27年度と本年度平成28年度やっております。これからどうするのかというご質問ですが、その辺につきましては、予算編成の段階で十分詰めさせていただいて、その可否について決定していきたいというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） すみません。同じくプレミアム商品券の件なんですけれども、総額2,521万で88.3%の換金と、そういうふうにお聞きしていました。内訳としては、恐らく建築、下水、燃料という内訳が、使用内容にしては多いというふうにお聞きしているんですけども、やはり、これ、ほとんどが伊根地区の下水に使われたのが多いというような認識でよかったんですか。

○議長（泉 敏夫君） 泉課長。

○企画観光課長（泉 良悟君） 今回の商品券で使われたものにつきましては、建築関係、下水、電気、燃料系というふうに分かれておりますが、使われている金額については大体横並びぐらいでございます。その3つを合わせまして大体88.3%の比率になっております。ですから、飛び抜けて建築関係が多いとかいうことではないように記憶はいたしております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようでありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、一般会計歳出の8款土木費から14款予備費までを対象として質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 62ページ、町道管理事業でございます。町道管理について、各地区により草刈り、また、今、町道を走っているとよく見受けられるのが、町道を雑木、隣接する木とかが覆ってきているケースをかなり多く見受けられます。大型バス等によっては当たるケース、トラックにとっては当たるケースもあるようでございます。木の管理についてどのようにお考えなのかお

聞かせ願います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 町道管理事業で、特に道路の支障木のご質問です。

これまでは余りしませんでした。毎年支障木伐採工事を実施しております。これにつきましては、町内パトロールしまして町道に大きくかぶさっているもの、降雪時にはもっとかぶさって車両につかえるだろうという箇所については優先して伐採をしております。しかしながら、まずは幹線道路を中心にやっておりますが、まだまだそれ以外でもありますので、これについては順次、優先順位を定めて、また、区長様方からの要望等も参考にしまして実施をしてみたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ぜひ、毎年でなくてもいいですから、何年に1回この道路はするという計画をもとに、国道、府道も京都府の要望をいただいて、ぜひお願いしたいなというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 支障木伐採につきましては、ここ何年か毎年継続してやっておりますので、予算の要望につきましては継続してしていきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、特別会計の国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算を対象として質疑を行います。5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 事業勘定のところで、収入と支出の差し引き残額というのが869万8,473円とすごく高いなと。去年なんかは29万3,443円でして、こんなに去年とことしと差があるのは、何かあるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 山根議員から、今年度は歳入歳出差し引き残額が多い、去年は少なかったけれどもというご質問でございますが、確かに去年は29万3,000円の差し引き、翌年度へ繰り越しということでございました。今年度は830万円という大きな繰り越しになっておりますが、各年度でそれぞれ国なり府からいただきます交付金等に大きな差がございますし、いろんな事業を行っておる部分につきましても、前々年度の精算が27年度に行われるというようなケースも多々ございまして、過去からこの国保事業勘定の翌年度へ繰り越す額については大きな多寡がございますので、ことしに限ってということではございません。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、国民健康保険特別会計の伊根診療所勘定及び本庄診療所勘定のおのの歳入歳出決算を対象とし、質疑を行います。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 余りに質疑がないので、議会どうなの、大丈夫かなと、ちょっと不安になっていますけれども。

さておき、診療所勘定ですけれども、伊根診療所勘定については、投薬のほうは46%とジェネリックの利用ということで大きく下がってきて、大きく評価したいなというふうに考えております。ただ、看護師さん、これについては高齢化といいますか、年齢層的に50代の看護師さんになるんですか、と考えると10年先を見据えた場合には、ぼちぼち看護師さんの確保に町のほうは努めていかなければならないのかなというふうな感じをしております。訪問看護も含めて看護師さんの確保策について、診療所を維持するためにどのようにお考えなのかお示し願います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 濱野議員からのご質問でございます。看護師確保対策をどう考えるのかということでございますが、平成27年度、28年度あたりから各診療所の業務も毎日開設ができておりませんので、診療所間での兼任辞令、また、訪問看護についても兼任辞令をかけながら看護師を効率的に業務がいただけるような配慮もさせていただいておるところでございますが、確かに、今、伊根町が雇用します看護師全員が50歳を超えておるという年齢に来ております。京都府内でも看護師確保が困難だということを言われておりますが、特に、京都府の北部地域においては、さらに、看護師の確保が困難という状況もうたわれております。中でも、訪問看護事業については、みずからが1人で赴いて患者にじかに接するというので、より看護師業務に就業しにくいというような実情も聞かせていただいておりますので、それこそ、10年先を見据えたときには、もうそろそろ看護師確保の対策に本格的に取り組んでいく必要があるんだろうなというふうに原課のほうでは考えておりますので、十分、原課のほうでそのあたりの看護師の確保の必要性について検証させていただいて、理事者のほうへの協議へつなげていかせていただきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、簡易水道特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 本庄地区で、今、2地区が、自然水を使っておる地区があるんですけども、仮に今年度その地区が簡易水道にしたいという要望が挙がった場合、最短で大体何年ぐらいであれですか。それと、負担率がどれぐらいあるのか、ちょっと教えてほしいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 恐らく、藤原議員の未給水地区、長延地区と野室地区だと思います。これらにつきましては、簡易水道ではなくて、簡易水道以外の専用水道かコミュニティ的な小さい集落の水道になりますので、実際には、管轄がまた住民生活課になるわけですが、なかなかすぐに手を挙げて水道設備が整備できるかという、恐らく計画期間等かかると思いますので、最短でも2年以降にはかかると思いますが、今までからそのような要望は受けておりません。長延地区につきましては、蒲入地区が水産飲雑用水で整備を行う際に、打診をしたときに断られた経過もありますので、そのときにやっておれば簡易水道でつながっていたと思いますが、そういう経過もございます。野室についても、なかなか自分ところの水道施設で何とかやりたいという思いがありまして、町で整備をしてほしいという要望までは至っておりません。ですから、取水のほうが調子が悪いので有識者に見てほしいとかいう相談はありますが、地域からの要望は、今ない状況です。それが要望されてから事業化になるということにつきましては、ちょっと簡易水道事業以外ですので、詳細に何年後には計画がということは明確には答えられませんが、1年、2年の計画期間は必要になるのかなと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 引き続き、私のほうからも補足的に説明させていただきたいと思いますが、簡易水道の未給水区域については、例えばですが、現在、伊根町のほうで考えておりますのは、町の簡易水道と同様に水道メーターを設置させていただいて、もちろん、施設の改良工事もする中で、水道メーターを設置して簡易水道に準じた形で同等の料金を徴収させていただく中で運用していくという方法もあるのかなというふうには考えておるんですが、そういったことについても、過去には各区長さん方とも打診をしたこともございますが、また、そんな水道料金を同様に取られるようならということで今まで見送られた経過がございますので、今後、もしそういった要望がありましたら相談させていただいて、検討を進めさせていただけるものというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 水道使用料の収納状況のところ、未収金額がこれだけありまして、それ

が21件というふうに説明があったと思うんですけども、これ、給水停止処分等も行っただけで未収金の徴収に努めたとあるんですけども、実際に水をとめられたということですか。すみません。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 実際にはとめるところまでは至っておりませんが、全額は返せないで、分納制約をいただいて分割払いで収納させていただいておるという状況でございます。したがって、一定期間、ここに書いてありますように3期以上の滞納者については全て何らかのお金を収納させていただいておるということでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 決算付属書の111ページの第5節の簡易水道の維持管理状況なんですけれども、修繕件数が去年は21件、ことしは他修繕26件というふうに上がっております。この修繕内容というのは、どのような形の修繕内容なのか。事細かじゃなくて大体で結構なんですけれども、教えていただきたいのと、それと、水道の配管のほうもかなり設置してから年数がたっておりまして、徐々にインフラ整備も兼ねて、その辺の話が全国的にも出てきていると思うんですけども、この辺の修繕内容に関して、修繕の件数というのは近年増加傾向に、うちの町内でもあって、その辺の大きな水道管の工事等も今後予定されておるのかお聞きしたいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、修繕内容ほか26件であります。

ほとんどが機器の小修繕、それから交換等、老朽化、それから故障による交換等でございます。大体、例年20件から30件どうしても出てまいる状況でございます。また、大規模な本体の本格的な布設替え等のことでございますが、まず、伊根町簡易水道で、特に朝妻から伊根へ送る送水管につきましては昭和55年ぐらいから三十数年、40年近くたっております。これにつきましては、シーサイドの上に配水池がございまして、そこから送っておりますので、ちょうど補助整備をして、以前も漏水箇所がわからずに断水のおそれがあったり、大変苦勞した箇所があります。そういう古い管の場所につきましては、農道に布設替えするなどの新たな更新計画を、今考えておりますが、簡易水道事業では補助率が大変低いということもありまして、ちょうど、それが漁業集落の飲雑用水で実施した箇所でございますから、その飲雑用水のストックマネジメントで補助いただいて実施ができないかなということで、今まだ具体的ではないですが、府や国と調整をしているという状況でございます。間もなく、そういう老朽化した管についても布設替えの時期が近づいているというのは事実でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

続きまして、下水道事業特別会計歳入歳出決算を対象とし、質疑を行います。質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 113ページの下水道工務の事業者数なんですけれども、22というふうにお聞きしているんですけども、このうち町内の事業者数は何社あるか、わかたら教えていただきたいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 町内の本店がある事業者数は4社、支店については、ちょっと今即答できませんが、本店については4社でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、財産区特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしの声があります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議

ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定及び介護サービス事業勘定を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、訪問看護事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

最後に、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、平成27年度歳入歳出決算の全ての会計の質疑が終わりましたが、この際、全ての会計を通じて何か質疑がありましたら、これをお受けすることとします。7番、佐戸仁志君。

○7番(佐戸仁志君) すみません。

先ほど、一般会計の歳入全般がちょっと早く終わり過ぎて質問ができなかったんですが、町民税が、去年、伊根町はプレミアム商品券、住宅改修の補助金、重伝建の補助など、いろいろと施策を打っていただいて、観光客も年々多くなっているようにも思えますし、法人税の減収が12%減となっているというふうに出ていますが、何が原因と思われるか、その辺をちょっとお教え願いたいと思います。

○議長(泉 敏夫君) 上山課長。

○住民生活課長(上山富夫君) 具体的減収の要因と言われましても、例えば法人税にしても、申告していただいたままに課税させていただいていますので、具体的な要因については、税所管としては答弁しかねる部分だろうというふうに思います。よろしくお願いします。

○議長(泉 敏夫君) 吉本町長。

○町長(吉本秀樹君) ちょっと蛇足になるんですけども、宮津税務署があつて宮津管内、税務署長さん見えられていろいろと話聞くんですけども、この宮津与謝というところは不思議なところですねと言われまして、どういう不思議なんですかと言ったら、昔、物すごく好景気だった。リーマンショックでガタガタになった。物すごい世の中というのは、好景気、不景気、循環しておるんですけども、宮津与謝から、事業者から上がってくる税収はずっと変わらんですって。不思議なところですねと、そう言われるんです。宮津署長にその原因を聞いても、ああ、私にはちょっとわかりかねますと。私もなかなか原因を追及したことはないもので、ちょっとわからんですけども。すみません。申しわけない。

○議長(泉 敏夫君) 3番、濱野茂樹君。

○3番(濱野茂樹君) 全体を通じてということですので、地方バス路線と診療所のことで、ちょっと聞きたいなと1つ思っていることがあります。

地方バス路線については赤字補填という格好で、参加者、利用者ですが200円バスを導入いただいたりとか、そういったことはしていただいております。それについて、バスの停留所、今、外国人の方がやっぱり伊根町においてもふえてきつつあります。停留所の表記、インバウンド対策というのがまだまだバスに乗ってもできていないというのが事実だろうと思います。そのあたりについて、次年度の予算においては、丹海さんの指導を含めて検討いただきたいというのが一つと、あと、診療所と地方バス路線で言いますと、伊根診療所に駐輪場、以前は議会の中の答弁では、今、除雪車が入っているところは訪問者、それが入っているところをあけて駐輪場として活用するんだということが議会答弁の中で、過去あったようでございますが、いつからか、夜間も自転車、夜遅く、その診療所の利用者だけでなく、高校通学の方とかが置かれることがあつて、その中に入

れてしまうとシャッターが閉められない、恐らくそういった理由だと思うんですが、駐輪場が、今なくなって玄関先に置かれているような状況があります。あれだけの大きな駐車スペースがあるわけですね。自動販売機の横ぐらいい、昨年、コミュニティサイクルの自転車小屋を、宮津高校建築科にお世話になりました。そのような駐輪スペースを設けるということは診療所内に検討すべきではないかと思うんですが、医療促進の観点からお伺いいたします。

○議長（泉 敏夫君） 泉課長。

○企画観光課長（泉 良悟君） 濱野議員のご質問でございます。

どこの市町村もそうなんですが、バスの停留所の、いわば待合の場所の設置でありますとか、駐輪場の設置、いろいろと各市町村も設置に苦労されております。丹海さんがそういった駐輪場ないしはバス停の設置については、大体1年間で二、三カ所ぐらいいしかできないというような補助制度がありまして、その部分が、まだ伊根町のほうにも回ってきておりませんので、必要な部分につきましては、やはり設置が必要であると判断した部分につきましては、丹海さんのほうに要望をしていきたいというふうに考えております。待合所の関係と駐輪場の関係も含めて要望していきたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 伊根診療所の前、高校に通学される方、結構自転車とめられたりとかされておりますので、ぜひ、あそこをバスが通ったりしますので、事故を防ぐ観点からも駐輪場の設置をすべきだろうなというところだと思いますので、丹後海陸交通さんにつきましては、インバウンド対策と伊根町への駐輪場、待合所の確保、これについて強く要望していただきたいなというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 先ほど一般会計の中で、大谷議員さんから予防接種の関係でばらつきが受診率であるということで、ちょっと補足のほうさせていただきます。

三種混合につきましては、二種から三種に移行されていくというようなことで、ゼロから92とばらつきがあるのと、あと、個々によりまして、何歳から何歳の間に受けたらいいとかいう期間が定まっています。また、種類によっては期間を何年以上あけんとか、そういうのがあるのでばらつきがあるのと、当日、熱が出て受診できなかったとか、その期間内にしたらいいので、そういうような形で受診率のほうでばらつきがあるというようなことで、ちょっと補足させていただきます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 付属書のほうでは13ページ、伊根町防災行政用無線の運用ということで、ことしも熊の出没だとかという放送がよく流れたわけですが、熊が出たという放送があったときには、猟友会の方だとか、出たからそういう人が出動したりされておるのかというのが一つと、あと、地域の方から、与謝野町岩滝だとか、あつちのほうへ行くと、お悔やみだとかそういうのが流れる地域があります。誰々がお亡くなりになられました、いついつ葬儀が行われますとかいうような放送が流れておる地域がありますけれども、そういったことを希望した場合、町としては流していただけるのかどうかお聞きしたい。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） それでは、防災無線の1点目の熊出沒時の関係でございます。

熊が出没した場合は、住民の皆さんに安全を図るために周知をしているということで、特に猟友会には報告はしておりません。捕獲許可も出ておりませんので。ただし、民家の中とか、そういうとき鳴らすと緊急時の対応ということで、また、猟友会にもお願いすることがございますが、通常出られる一般の国道とか、人里離れているところについては周知だけをしているという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） もう一点、防災無線によるお悔やみのお知らせについてでございますが、今まで、そういった要望も希望もお伺いしておりませんので、現段階では伊根町としてはそういった放送をする予定はございません。ただ、今後もし、そんな希望があるようでしたら検討はする必要があるかと思いますが、現時点では考えておりません。

○議長（泉 敏夫君） 1 番、和田義清君。

○1 番（和田義清君） 8 ページの寄附金のところで、指定寄附金のふるさと応援寄附金が 148 万 3,000 円の 56.6% の増によるものというふうにご報告していただいております。以前にも他の議員さんが一般質問でふるさと応援寄附金をもっともらえるようにすればどうかというような議論もありましたけれども、この 56.6% の増の要因というのは、どういうふうに捉えておられますか。

○議長（泉 敏夫君） 泉課長。

○企画観光課長（泉 良悟君） 和田議員さんのご質問のふるさと応援寄附金の伸び率の関係でございますが、これについては、大体 1 万円をベースに寄附をさせていただいておりまして、それに対してお礼の品を送付するわけですが、その品数がちょっとふえてきたということと、特に著しく要望が来ておりますのは、伊根マグロの要望というものが非常にふえてきておりまして、そういうことも総合的に勘案して増加傾向になったのではないかなという推測がされるというふうに思っております。

○議長（泉 敏夫君） 1 番、和田義清君。

○1 番（和田義清君） 要は、返礼の選択肢の幅がふえたのが増額要因という認識でよろしいですね。

○議長（泉 敏夫君） 4 番、松山義宗君。

○4 番（松山義宗君） 不用額についてちょっとお伺いします。不用額がふえているようでもあり、そんなふうに感じているんですけども、決算書の 102 ページ、診療施設費、ここが、当初予算があって、補正で減らしたにもかかわらず不用額が当初の半分ぐらいあると思うんですけども、どういった事業あるいは施設などがうまくできなかったのか、もともとの予算というのが多かったのか、その辺をお聞かせください。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） まず、一般会計の不用額のほうの考え方から申し上げさせていただきますと、この費目の行き先といいますか、国保事業勘定の総合保健事業のほうに繰り出す予算でございます。総合保健事業のほうは、主に保健センターで行う保健事業、保健師の職員人件費も含めた形での総合保健事業費が対象となっております。事業費が確定しますのが、事業勘定のほうで歳出が確定した後に必要な歳入を一般会計から事業勘定のほうに送り出す関係がありまして、一般会計のほうは、予算計上したものが足りない場合は専決補正等を、緊急の場合は行う場合もありますが、この範囲内でおさまりそうだという場合については、専決までは行っていないというあたりがございます。そういう事情で高額の不用額ということになっておる現状がございます。

大変失礼しました。申しわけございません。

今、私、保健センターの総合保健施設費と申し上げましたが、大変申しわけございません。診療施設費でございました。こちらは、伊根診療所と本庄診療所のそれぞれの診療所勘定への繰出金でございます。ですので、大変失礼いたしました。申しわけございません。勘違いしておりまして、それぞれの診療所の決算の状況によって必要となる財源をどうするかということでございます。それで、不用額が残る考え方につきましては、先ほどと同じものでございます。大変失礼しました。おわび申し上げます。申しわけありませんでした。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 国保の事業勘定の繰出金が具体的には予算より大きく減少となったということです。一般会計からすれば、また国保の事業勘定からすれば、安定した経営ができた結果ということにはなるんですが、実は国保のほうの歳入のほうの考え方が、出納閉鎖ぎりぎり歳入が確定するということがございまして、3 月末の専決の段階ではまだまだ見通しが見えにくいところがありますので、大きな不用額が出てしまうということで、ご了解いただきたいというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 4 番、松山義宗君。

○4 番（松山義宗君） ということは、伊根の診療所が大変頑張ってくれて、ジェネリック等々を使ったおかげということもあるんでしょうけれども、町民さんはそれでも十分に満足をされて、

苦情などやもっとこうしてほしいとか、回数をふやしてほしいだとか、もっと丁寧に診てくれだとか、そういった苦情とか要望なんていうのももう出ていなくて、これで町民さんも十分満足されているというふうな考え方でいいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 診療所の診療日数については、当初は心配だなという声も聞かれましたが、具体的に診療日数が少ないから困ったというようなことや、どうしても救急に耐えられなかったというような苦情等についてお伺いすることは現段階ではございませんので、一定、安定した診療所の運営がさせていただいているのではないかなというふうには思っております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 付属書のほうで、29ページの民生費の中で、戦没者遺族援護事業ということであるんですけれども、遺族のほうも大変少なくなっているというんじゃないんですけれども、継承されていないから遺族の方は遺族なんだと思うんですけれども、各地に忠魂碑というものが点在しておるわけなんですけれども、遺族の方も高齢になったり、その後継者の方も来られんようになっていたりして、その忠魂碑の維持管理も大変になってきておるわけなんですけれども、そういったところを、道を直したりだとか、参道を直したりする場合に、何か行政としてできる支援というのはあるんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 今、上辻議員のほうから、具体的には忠魂碑の維持管理がなかなか困難になってきておるというお話と、そこへ通じる、忠魂碑まで行く道路等の整備が何とかならないかというご質問かというふうに思いますが、伊根町のほうでは、里道のほうは地域整備課のほうで何らかの対応を、今までから議会にもお話をさせていただいているようにありますし、墓参道についても、一定、墓参される方の安全確保のための原材料支給等の制度は持っておるところでございますが、忠魂碑になると、なかなか現段階では行政として支援ができる制度的なものは何もないのかなというふうには思っておりますが、きょうお話がありましたので、一定、今後、庁内でも何らかのことができるのかどうかは、ちょっと確認はさせていただきたいというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 付属書の37ページ、医療費の助成ですが、健やか子育て医療費を伊根町が高校卒業までやっているということで、国のほうのペナルティーというのがあるというふうに新聞に最近載っておったんですが、このペナルティーというのが伊根町でどれぐらいのものになっているのか、わかればお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 福祉医療費に係ります、例えば健やか子育て医療、伊根町がよそに比べて多くの支援をしておるから、それに対するペナルティーの額はというご質問になるというふうに思いますが、具体的なペナルティーの額というのは、伊根町のほうで幾らということはなかなか見えにくいことになっておりまして、各種の交付金の中でそれが算入されておるというお話は耳にはするんですけれども、具体的な額については見えておりません。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 見えないけれども、あるのはあるということによろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○住民生活課長（上山富夫君） 京都府から、各種の会議等でもそういった話も出ておりますので、そういったものはあるんだろうなというふうには認識はしております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ありませんか。一番最初に早く終わったもので、だから質問ができなかったということですので、どしどし質問していただきたいというふうに思います。質疑なしとの声がありますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。

これで、議案第42号 平成27年度伊根町歳入歳出決算の質疑を終わります。

◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

本日で全ての決算質疑は終了しましたので、9月16日に予定しておりました本会議は休会とし、最終日は23日午後1時30分から開催する予定です。よろしくお願いします。

なお、初めに一般質問から行います。

ご苦労さまでした。

散会 10時43分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員